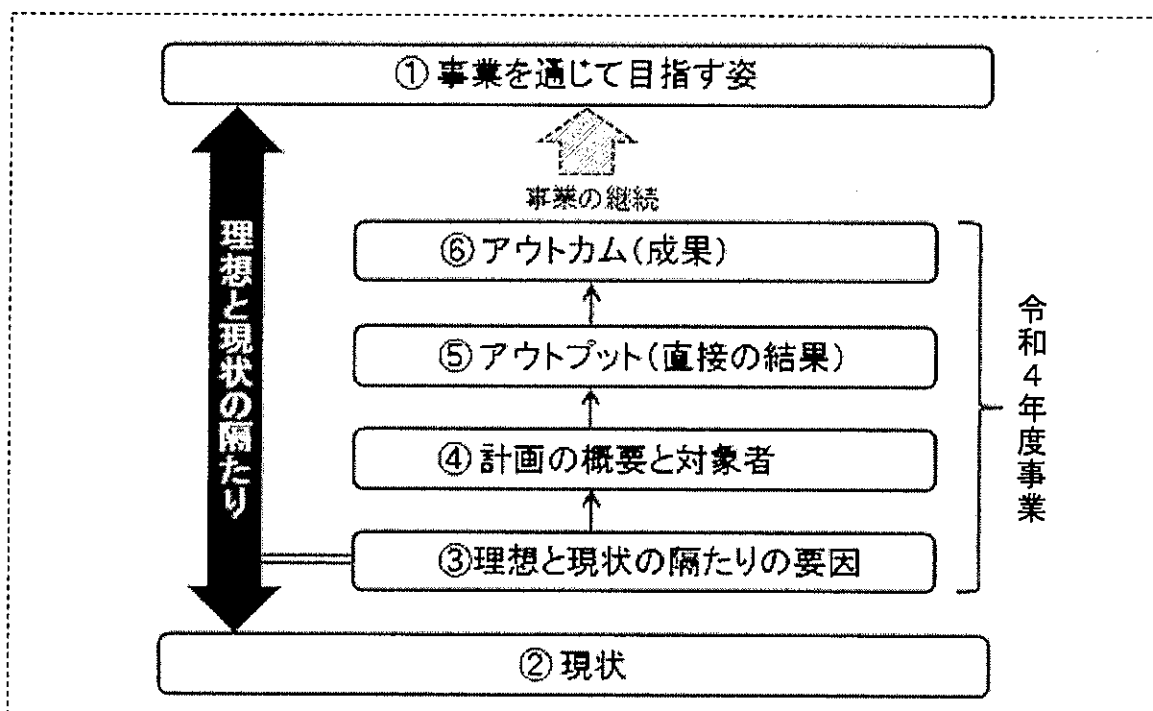


事業計画書

事業名		浅口市民ライター育成事業「高梁川流域ライター塾」
グループ名		高梁川流域ライター塾実行委員会
代表 団体	名称	一般社団法人はれとこ
	住所	岡山県倉敷市中央二丁目 13 番 3 号
	担当者	代表理事 戸井健吾
	電話番号	080-7494-3220
	E-mail	contact@haretoco.or.jp

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。アウトカムには、アウトプットに直結した短期のものと、目指す姿へつながる長期のものとがあります。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、〇〇〇というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム（短期）	アウトカム（長期）
学習支援事業	学習会の開催	月 4 回、各回 20 名参加	参加者の学習意欲の向上	家庭での学習習慣の定着
就労支援事業	冊子作成・配布	1 千冊作成、800 人に配布	就労に必要な知識の習得	就労の定着、経済的自立
保護者支援事業	居場所の運営	週 2 回、各回 15 名参加	育児の負担感の緩和	子どもの健やかな成長
移動支援事業	高齢者の送迎	週 2 回、各回 5 名利用	移動手段の選択肢の増加	移動困難者の減少

1 事業を通じて目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。事業の実施により、地域課題が改善に向かった後、「どのような地域・人が、どのような状態になっていることを目指すのか」について、具体的に記入してください。

地域の魅力を発信するライターとして必要な心構え、ライティング・撮影スキルを身につけ、地域の歴史・文化、街づくりに携わる人に寄り添いながら、自信をもって発信する「市民ライター」が増える事。

その結果、地域の情報発信が増加し、地域活動に関心を持つ住民、足を運ぶ観光客などが増え、街が賑わうだけでなく、住民（地元の人）・観光客（外部の人）が対立軸ではなく、「自分たちが住む街（本事業においては主に浅口市）を楽しんだり好きになったりする仲間」となる社会を目指す。

2 現状

1 「事業を通じて目指す姿」と比べて、現状はどのような状況にありますか。「どのような地域・人が、どのような状況にあるのか」について、具体的に記入してください。

長引くコロナ禍により、観光業はもちろん、地域の飲食店・企業が苦しむ中、自分たちだけがその魅力を知っている、買って支えるでは限界があると考える住民が増えている。

解決する手段の 1 つとして、自分たちが住む地域の魅力を発信する必要性を感じている住民も多いが、情報発信を「自分たちで」行うという意識は薄く、そのような事例がすでにあることを知らない。また、情報発信は難しいと考え、スキル面を理由に距離を置いている。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

1「事業を通じて目指す姿」と2「現状」との隔たりを生み出している、主な原因はどのようなものと考えますか。

主に以下の4点が理由と考える。

1. 地域の情報発信を行うためのスキル（主にライティング・撮影・インタビュー）を持ち合わせていない
2. 地域との関わり方、情報発信の手段として「市民ライター」という方法があり、実際に活動している人が存在することを知らない
3. 地域との繋がりを持つために、何をすればよいか分からない
4. 必要なスキル、心構えなどを得たとしても、同じようなおもいをもって運営されているメディアの存在を知らない

4 計画の概要と対象者（令和4年度）

（1）事業の形式

次のいずれか該当する事業の形式に☑をしてください（両方でも可）。

- ☒ 実践を通じてグループ内でノウハウを受け継ぐ事業
- ☒ グループ内の団体それぞれが持つノウハウを持ち寄り、地域の新たな催しや地域資源を開発する事業

（2）計画の概要

3「目指す姿と現状の隔たりの要因」を取り除くため、どのような事業を実施しますか。
「どのような地域・人に対して、どのような活動を行うのか」について、簡潔に記入してください。（※計画の詳細は下記7に記入してください）。

一般社団法人はれとこと一般社団法人 moko'a は、それぞれのノウハウ・コミュニティを持ちよって、浅口市内で全 8 回のセミナー「高梁川流域ライター塾」を開催する。

5 アウトプット（直接の結果）

(1) 事業を通じて提供するサービス

事業を通じて、「どのような地域・人に対し、どのようなサービスを提供するのか」について、具体的に記入してください。

浅口市および高梁川流域圏の住民で、「ぼんやり地域のために何かやりたい」と考えている人、またはライター活動など、情報発信に興味がある人に対して、全 8 回の市民ライター育成講座「高梁川流域ライター塾」を開催する。

本講座では、地域コミュニティ Web メディア「倉敷とことこ・備後とことこ」の運営ノウハウ・ライティング・撮影スキルなどを伝えるのはもちろん、現役市民ライターの活動紹介、地域と関わるための第一歩に向けたワークショップ、税金の知識講座、インタビューの疑似体験を通じた記事制作など、実践的な内容で構成する。

また、修了生（全 8 回の講座を受講し、最終課題の原稿を校了させた受講生）については、倉敷とことこ・備後とことこでのライター活動の資格が得られる、市民ライターポータル「高梁川流域ライター」への登録、全国メディアの紹介などライター活動初期で苦戦しがちな、自薦経験を積める「案件獲得」までサポートを行う。

(2) アウトプットを測る指標と数値目標

事業のアウトプットを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
全 8 回のセミナー延べ参加者数	0 人	200 人

(3) アウトプットの測定方法

事業を通じて、アウトプットを測る指標をどのように測りますか。数値目標の達成状況を把握できる、具体的な方法を記入してください。

セミナーの参加者数を数える

6 アウトカム（事業の成果）

(1) 長期のアウトカム

1 「事業を通じて目指す姿」の一段階手前の状況はどのようなものですか。最終的に実現しようとしている、地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

住民・団体が、地域情報発信の必要性を認識し、「自分たちでもできる」に留まらず「自分たちだからできる・伝えられる」と自信を持つようになる。

(2) 短期のアウトカム

今年度の事業のアウトプットを通じて、実現したい成果はどのようなものですか。アウトプットから今年度中に導かれる地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

浅口市・里庄町で市民ライターとして活動する人が増加すること
※活動の定義は、地域情報 Web メディア（とことこシリーズ・Yahoo! JAPAN クリエイターズプログラム、ほ・とせな NEWS、浅口あさ子の情報発信ブログ、行政の運営するメディア、など）で記事を執筆すること（個人ブログは含まない）

(3) 短期のアウトカムを測る指標と数値目標

事業のアウトカムを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
地域情報 Web メディアで活動する、浅口市・里庄町在住のライター	1 人	5 人

7 計画の詳細

(1) 事業の具体的な内容

※内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらい等を具体的に記入してください。

【セミナー実施】

＜セミナーの内容（仮）＞

第1回：とことこシリーズとは？求めるライター像

第2回：ライティングスキル講座（概論）

第3回：写真スキル・実技講座

第4回：現役ライター経験談&座談会

第5回：地域活動をはじめるための第一歩ワークショップ

第6回：ライターも知っておくべき税の知識

第7回：インタビューロールプレイング（疑似体験）

第8回：記事作成 実践ワーク

※セミナーは全て会場・オンラインどちらでも参加可能な、ハイブリッド型で開催

【広報】

・チラシの作成

・Webメディア「倉敷とことこ」・「備後とことこ」内の告知

・「浅口あさ子の情報発信ブログ♪」での告知

・浅口市による広報（予定）

※浅口市から後援を受ける予定（申請中）

(2) 事業のスケジュール（準備～実施～報告）

7月	セミナー企画の詳細検討 チラシ作成、印刷会社に発注 広報開始
8月	高梁川流域ライター塾（第1回・第2回）
9月	高梁川流域ライター塾（第3回～第6回）
10月	高梁川流域ライター塾（第7回・第8回）
11月	修了生向けのとことこテストライティング、他社媒体への紹介をスタート ※2023年4月以降も継続的に行う
12月	アーカイブ受講、最終課題提出期限
3月	事業報告書提出

8 ノウハウとその有効性

ノウハウとは、団体が過去に実施した活動の中で習得したり、成功や失敗の経験から得たりした、地域の課題解決に有効な手法や技術などの蓄積を言います。それぞれの団体が有するノウハウの内容と、それを事業にどのように活かせるのかについて、具体的に記入してください。

【一般社団法人はれとこ】

平成 30 年 7 月豪雨以来、Web メディア「倉敷とことこ」に代表される、地域コミュニティ Web メディアの運営、社会福祉協議会などと連携した災害時の情報発信支援などを行っている。2019 年の法人化後、笠岡市を含む「備後とことこ」を 2020 年 9 月に開設。情報発信・ICT 活用に関して実践経験が豊富。

令和 3 年度高梁川流域地域づくり連携推進事業 採択事業として「高梁川流域ライター塾」を開催し、26 名の市民ライターを輩出している。

【一般社団法人 moko'a】

地域おこし協力隊の経験を活かし、団体設立 2017 年以降、コミュニティによる地域住民の生活の維持、地域力の向上をはじめ、地域課題の解決や地域の魅力を活かしていくために、多様な主体、分野、地域、資源をつなぐコーディネーターとして活動。住民主体の移動サービス・集いの場づくりの支援、空き家・空き店舗を活用した地域拠点の運営等を通し、地域で「何かしたい人」の支援を行なってきた。

2019 年以降、浅口・里庄の情報発信を行う「浅口あさ子の情報発信ブログ ♪」を商工会女性部と連携し立ち上げ、現在も地域情報の収集、発信を行なう。

地域住民との関係づくりの実践経験が豊富なため、ライター講座受講生へ地域への入り方のノウハウなど、これまでの経験を活かした情報提供を行なうことができる。

9 事業完了後の取り組み

補助金の交付条件として、事業の完了後 1 年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施することとしています。事業の成果が継続して地域に根付くのに有効な取り組みであれば、その規模や内容は問いません。事業完了後に予定している取り組みの内容を具体的に記入してください。

(1) 事業の実施主体となる団体名

一般社団法人 moko' a

(2) 事業完了後の取り組みの概要

浅口市・里庄町エリアで希望者に向けて、継続的な活動の支援ができるよう、以下の取り組みを行なう。

- 地域との関係づくりのサポートを、公式 LINE を通じて受けられる仕組みの構築
- 取材・撮影の場所としてのリアル拠点の貸し出し（大谷みかげスクエア・寄島ぶらっと Home など）
- 「備後とことこ」・「倉敷とことこ」とエリアがかぶっていない浅口市・里庄町で取材・執筆した記事を「浅口あさ子の情報発信ブログ♪」に掲載できる

10 SDGs との関係

次のSDGsの17のゴールのうち、申請する事業に関係する番号を選び、1～2個記入してください。なお、当補助金の要件を満たせば17（パートナーシップで目標を達成しよう）に該当しますので、あらかじめ記入しています。

① 1 7 ② 1 1 ③ _____

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。経済・社会・環境の諸課題の統合的な解決を目指し、17のゴールは基本コンセプトである「だれ一人取り残さない」を実現するために、分野別の目標としてまとめたものです。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



収支予算書

	所属・役職	氏名
経理責任者	一般社団法人はれとこ 代表理事	戸井健吾
経理担当者	一般社団法人はれとこ 副代表理事	岡本康史

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
補助金		744,000	※千円未満切り捨て, 上限 750 千円
受講料		120,000	3,000 円×40 人 ※学生(大学生以下)は無償
その他		0	
収入合計		864,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
人件費	企画詳細検討	98,000	900 円×3h×9 日×4 人
	講義資料作成	87,000	900 円×8h×3 日×4 人 (2 時間枠)
		22,000	900 円×4h×3 日×2 人 (1 時間枠)
	講師当日稼働分	15,000	900 円×2h×8 回×1 人
	当日運営スタッフ	116,000	900 円×4h×8 回×4 人
	最終課題チェック	27,000	900 円×1h×30 人
謝金	セミナー講師	45,000	30,000 円 (1 人)、15,000 円 (1 人)
旅費交通費			
消耗品費	配付資料印刷費	5,000	1 枚 1 円×20 枚×30 部×8 回
印刷製本費	チラシ印刷	10,000	A4 両面印刷 3,000 部
通信運搬費		0	
保険料		0	
使用料・賃借料	会場使用料	30,000	
	機材レンタル費	24,000	プロジェクタレンタル費用
	決済手数料	5,000	受講料収入 120,000 円×3.5%
委託料	チラシ制作	50,000	
	HP 制作	50,000	
	音響・配信	200,000	25,000 円×8 回
	動画制作	80,000	10,000 円×8 回 (アーカイブ動画)

対象経費計		864,000	
その他		0	
対象外経費計		0	
支出合計		864,000	(収入合計と一致)

※金額は切り上げて千円単位で記入してください。